ている。特に夜間の路締まり強化の要望が出

厚 議員 召田

今後建設される

念典施設の計画は

「老朽化施設から順次建て替える

の予定は。②小学討が必要である。 化し、 必要である。今後、早急に計画の検国は老朽

校が自校式給食となっ を回しているが、 る。子どもたちに付け 経費は年々増加してい 残り6校の費用、委託 費は約24億8千万円 たが、これまでの工事 ②小学校6

ンターを建設し、現施施設の駐車場に医療と現 ①平成24年度に現 設を解体後、 断を行い、第4次総合もあり、来年度劣化診 保健施設の増築を行う。設を解体後、介護老人 向性を検討する。 老朽化と耐震上の問題 こども青少年部長 振興計画時に今後の方 1

教育部長 具体的に検討する。

では、 は新曽小と、年に1校 年度は笹目小、24年度 来年度は新曽北小、23 戸田南小は、多くの人ずつ建設。残る喜沢小、 の意見を聞き検討する。 .田南小は、多くの人 ②今年度笹

▲建替えが求められている上戸田保育園

市長

首都に隣接す

していく。

進めていくため、

を今

主体のまちづくりを 市民

まちの実現のため、

実施する。

具体的な取り組みを

まちをどう思うか 無秩序に開発が進む

• • • • • • • • •

会と連携し、 市内巡りなどの提案や 観光協会、 性を持たせた

作成を観光推進基本計画の

子宮頭がん

の震滅

「公費助成も前向きに検討

に向けた盛観を

してはどうか。

定である

件補助。

ホームページ

などで市内外にPRす

企画はどうか。 新技術研究開発

賞は研究する。



▲業務内容をお知らせする 工場見える化事業看板

考え、公費助な 公費助成も前

して駅前行政センター作成やまちの案内所と加の観光推進基本計画 を活用-づくりの推進に市民参議員 観光によるまち

報などの案内も担う予の紙媒体や検索用パソの紙媒体や検索用パソ ンドの創出、工業巡り、 をする。センター2階 ビジョンの調査・検討 や中長期的な観光振興 フィルムコミッション づくりの重要政策課題 活用など、 観光はまち 地域ブラ 商工

市民生活部長 技術開

ようなことをしてはニュービジネス大賞の

をもっとPRし、ニュ 支援補助制度認定企業 ービジネス大賞などの

万円上限に現時点で23 発やものづくり、研究

今後も継続するのか。 つ たが、 対象範囲は

ることが大事である。 ブルの解決に向かわせ 活動に参加させ、

る。 計6709世帯であ が、 今後2年から3 調査対象数は、 合

に1回程度定期的に実

施していきたい

北議側のゴ 見える景観整備を進 、北側からも水辺が側の夾竹桃を移植りで大きを

『戸田市競艇場バスタ

時間とずれるように、

て高齢者実態調査を行

民生委員を通じ

観に考慮し、一本置き管理をしている県も景

馬場栄一郎 議員

外国人とより息短な 交流で問題解決を

本語教室など、外本語教室など、外本語教室など、外

「取組みを充実させていく」

数 人 市 議 が 登 は 員 約 録 外

4 者 国 本

際交流サロンや日国際交流協会では、

市民生活部長

田 国市

議員

国人を招き入れ

を招き入れ、地域自治会活動に外

ルが発生している。地住民との間で生活ルー文化の違いから、地域の間で生活ルーク はいから、地域のは、言葉やのは、言葉やのは、言葉やのは、言葉やのない。 外国人の 占めており、市内人口の3 域住民との交流活動が の 3 00人。

に交流の輪に加わより多くの外国人

▲私たちの国の文化を知ってください (国際交流パーティー)

今後も継続するのか高齢者実態調査は

本田 議員

できないか。

いく。 組みを充実させて

ってもらうよう取

貨物自動車の夜間路上 鹿車の取り締まり強化を

「パトロー ルで強化していく」

貨

場合は、車体の窓に「戸ドライバーが寝ている巡回で注意をしたり、 転灯パトロールの夜間 市民生活部長 化すべきではないか。 上駐車取り締まりを強 青色回

▼貨物自動車の夜間駐車の対策を

お動を案内 がスターミ のの のの きたいと考 えている。

とはできないか

市民生活部長

朝8時まで延長するこ

ミナル夜間開放」を

たちの登校 きたい。 も **議**早く していただ 実施 ま

日日 等路上駐車対策協議会は、戸田市貨物自動車放の時間延長について い。 に お 願

V して

いきた

景観づくりを トコースの

> か。 現在、

午前7時まで無料開放している。

こどもの センター、

医療保健 ①

保育園の計画は の計画は。

③老朽化した

育園は、建設地も含め③最も古い上戸田保

事業が行われている 議員 多くの自然再生

る。

どう誘導し、

どう

いう都市像を目指すの

ではなく守るものであ

自然とは造るもの

ワクチン

の可能性が大。市はど接種と検診併用で撲滅

校との連携や安全性を歳~44歳、理解を得る 接種優先勧奨が11 長 接種優先勧奨が11

のような体制か。

が の子宮頸 20

光資源の魅力向-市民生活部長 ホ

市内観

トラ

福祉部長 住民基本台長の単身高齢者、65歳以上で60歳以上の方と以上で60歳以上の方と以上で方と

い。
は
は
な
を
検
計
し
て
は
し
が
は
で
流
を
関
る
よ
う
な
取
が
は
で
流
を
関
る
よ
う
な
取
が
は
で
が
の
市
民
体
育
祭
、
防
れ
が
に
参
加
さ
せ
、
地
は
の
市
民
体
育
祭
、
防

るべきではない

ついて県と協議してい道路からの景観配慮にかし、いま一度、北側に剪定をしている。し